

決算審査意見書に対する回答

審査意見等	担当部署	回答(対応方針)
(1)滞納整理について	税務課 建設住宅課 上下水道課 子育て応援課 福祉あんしん課 すこやか健康課 教育総務課	税金のみならず、各種使用料等についても、収納の確保は重要な課題であると認識しております。 滞納整理部会においても、私債権、公債権含め研修会等の機会を共有し参加しており、得られた知見は職員間で共有することで、回収事務の充実と意識の向上を図り、公平な負担の確保と収納率の向上に努めております。今後も一層の連携強化を図り、効果的な滞納整理に取り組んで参ります。
(2)DXの推進 書かない窓口について	総務課	窓口業務を経験していない新入庁職員が住民役となって実際の手続きを点検していく窓口体験調査を実施し、システムを使用した手続きフローや職員の動線等を点検し、検証及び改善点等の洗い出しを行う計画としています。 システム面においては、基幹システムの標準化対応に合わせて、基幹システムとのデータ連携機能の見直しを図ります。また、本システムは、クラウドによる一律のシステムを自治体が利用するという形態であり、自治体の意見等を取入れながらバージョンアップが継続されるため、当町においても対応する手続きの追加や機能強化、窓口体験調査での改善についてベンダーに要望します。 上記のPDCAサイクルを回すことで、書かない窓口による住民サービス向上に取り組めます。
(3)補助金の支出科目について	総務課	補助金交付事務については、補助金等交付規則及び交付要綱に基づいた適切な手続きが求められることから、事務調査のチェックリストやフロー図を整備しています。それらを全体に周知し、適切な事務に取り組んでいるところです。今後も継続的に研修機会を設定するなどし、組織全体で適切な事務執行となるよう徹底を図ります。
(4)生涯学習センターの利用促進について	社会教育課	今年度は、「政策力アップ！職員アイデア研修」で提案のあった談話コーナーの整備による子育て世代の居場所確保、及び執務室一部移転による窓口カウンターの拡張を行いました。引き続き、居住性の向上や利用方法の多様化に取り組み、利用しやすい施設となるよう努めます。 今後の取り組みとしては、各部屋の利用状況を精査し、利用回数の少ない部屋の新たな活用方法を検討します。居住性向上のため、照明LED化、プライバシーを確保した学習スペースの設置等も併せて検討します。 また、住民ニーズをふまえた講座の充実や、夏休み等の長期休暇を利用して、子ども達が興味のある分野での学習講座の実施など、学習支援にも取り組みたいと考えます。
(5)水道事業について	上下水道課	簡易水道が編入され、管理区域が広がったことにより、漏水等修繕が増加しています。 町内の水道事業者で組織する管和会と年一回の意見交換会を開催し、年間の漏水修繕に係る当番表を作成し、緊急の漏水事案の修繕に対しての協力依頼を行って対応しています。また、設備等において緊急的な修繕が発生した場合、早期に復旧を図るため、関係業者との連絡体制の整備を行っています。